

当院1型糖尿病患者のカーボカウントによる血糖管理を実施した2症例

医療法人財団はまゆう会 王子病院¹⁾

公立大学法人 九州歯科大学付属病院²⁾

外園 真矢¹⁾ 吉村 美紀¹⁾ 原 千阿記¹⁾ 瀬川 賀世子¹⁾

箴島 明彦¹⁾ 田中 孝夫¹⁾ 市丸 喜一郎¹⁾ 園木 一男²⁾

【はじめに】

糖尿病の食事療法には、従来より日本で活用されている食品交換表を用いたトータルのカロリーコントロールと、欧米で有用性が実証されているカーボカウントがある。今回、カーボカウントによる血糖管理を試みたので報告する。

【目 的】

血糖管理不良の1型糖尿病患者2症例の血糖改善を図る。

【方 法】

食事や間食内容を記録し、カーボカウントを実施し、経時的にグリコアルブミンや血糖値の評価を行った。

【結 果】

食事の炭水化物の量に合わせてインスリン量を調整する事で、2症例共グリコアルブミンの改善がみられた。

【考察・結語】

血糖管理不良と判断される1型糖尿病患者に対して、食事や間食内容を把握し、炭水化物量に合わせてインスリンを施行する事による血糖管理は有用であった。当院の全ての糖尿病患者に適応する方法ではなく、自己管理意欲を持ち合せている事が必要であると思われた。